

# 幸子の議員活動日誌

2017年6月～2017年10月

## 東奔西走

皆さんからも市政へのご意見をください



### ●「子育て応援ひろば」古町コシジビルに移転オープン 6/1

中央区役所がNEXT21に移るのに伴い移転し、利用時間、短時間保育室の利用拡大が図られました。本市の子育て支援センター全てが、居心地よい空間、良質な情報や知識の提供など、子育てだけでなく親育ちの発信基地となるよう働きかけています。



### ●辺野古新基地埋め立て NO! 7/13

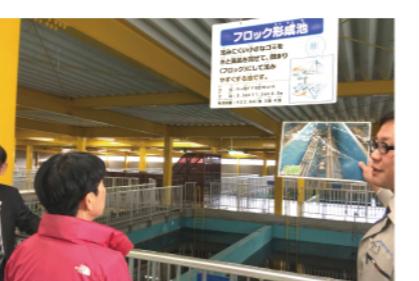
新潟より辺野古にメッセージを送る

沖縄に連帯したい!と事務所に約20人が集い、辺野古の海上フロートにつける垂れ幕を作りました。思い思いのメッセージやジュゴンやカメを描き大小15枚の垂れ幕を辺野古テント村に送りました。新潟から平和の思いを発信し続けます。



### ●障がい者アート 「まちごと美術館ことこと」応援します 9/10

「住み慣れた地域で最後まで暮す」を合言葉に地域住民が主体となって社会福祉法人が設立されました。無事地鎮祭を済ませ、高齢者総合福祉支援施設「あい・いからしの郷」の工事が始まりました。地域包括ケアシステムに取り組みます。



### ●五十嵐コミ協防災訓練 10/7

自分たちの町は自分たちで守ろう!

当日はたくさんの地域の方々が集いました。地元消防団員、ひまわり隊（女性消防団員）の皆さんから、心肺蘇生法、AED取扱訓練、初期消火、応急担架作成搬送訓練などを受けました。今後も防災訓練、救命講習の普及に地域の方々と共に取り組みます。

### ●水道行政視察 北海道の広域水道企業団の 10/30

恵庭市、中空知にある広域水道企業団の視察に新潟東港水道用水供給企業団議員団を行ってきました。ここでも、施設の更新と耐震化は大きな課題で、更新より修繕と長寿命化を図っています。視察内容を新潟市の水道行政の今後に生かしていきます。



### ●「第9回全国政策研究集会 in 新潟2017 分断と差別から共生と連帯社会へ」 8/18

全国から地方自治体議員を中心に160人が集いました。新潟実行委員会の自治体議員立憲ネットワーク加藤大弥さん、中山均さんたちと準備を進め、共生社会、エネルギー政策、地域包括ケアについて学びました。今後の活動に活かしていきます。



### ●第 20 回全国シェルター シンポジウム in 東京 9/30

今回で20回目を迎える今大会は「ノーモア暴力～DV・虐待・性被害・差別・貧困の根絶～」をテーマに文京シビックホールで開催されました。今後も女性や子どもへの暴力防止、人権擁護、相談を丁寧に進めています。

無料  
法律 / 税理  
生活相談

市政に関するさまざまな相談にのっています。  
お気軽にご相談ください。

●市議会会派室（市民ネットにいがた）

TEL 025-228-1000

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1

●事務所 〒950-2076 新潟市西区上新栄町3-4-83

TEL 025-201-8413 FAX 025-201-8423

sachiko-ishizuki@grace.ocn.ne.jp

●自宅 〒950-2076 新潟市西区上新栄町4-5-82

TEL 090-5318-5607

新潟市議会議員

# いしづき幸子 議会活動レポート

5

新潟市議会

## 市民ネットにいがた 市政報告

市民ネットにいがた 951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1（新潟市役所内）  
TEL.025-228-1000



## 3年にしてようやく、議員としてできることの面白さが分かってきました

### 目次 contents

- ご挨拶 ..... 1P
- 2017年 議会報告 9月定例会 ..... 2P
- 着実に一歩づつ 実現にむけて提言・行動 ..... 3P
- 幸子の議員活動日誌 ..... 4P

新しい幸子事務所は地域の居場所  
いつもでお立ち寄りください



1期、3年目が過ぎようとしています。

「市議会議員としての仕事は3つある」と尊敬する元参議院議員の方から教えられました。1. 地域のために働く。2. 市政をチェックする。3. 国の動きを考える。この3つは、自分の活動を整理する重要な視点であり、かつ、密接に絡み合っていることを実感しています。生活の課題は政治そのもの、個人的なことは政治的なこと、と考えてきましたがさらにその思いを強くしています。

1点目、地域の皆さんからの多くの相談を頂きます。いじめ、障がい、介護、職場、歩道、下水道…。お話を聴くだけで済む場合もありますが、実際に行政や関係機関につないだり仲立ちしたりする場合も多く、解決に向かうと嬉しくやりがいを感じます。

2点目、市政のチェックについては、私の得意分野（児童福祉、教育問題、女性政策、人権問題）で、そのあり方を質してきました。得意でなかつた分野でも自分の幅を広げる努力をしています。

3点目、国の動きについては、平和憲法を守り、原発ゼロに向けて行動しています。納得できないことには声を挙げること、仲間を増やすこと、共に行動することを心してきました。

3年にしてようやく、議員としてできることの面白さが分かってきました。これからも、今と未来を生きる私たち、次の世代のために努力し続けます。

新潟市議会議員

いしづき 幸子

議会や視察のない金曜日の午前または午後に「幸子市政なんでも相談」をおこなっています。また、月・水・木の午後はスタッフがいますのでいつでもお立ち寄りください。「喫茶けやき」の奥です。

一般質問  
通告

1. 本市の保育行政の課題について
2. 難聴児への支援について
3. ギャンブル依存症対策について

一般質問全文はいしづき幸子 HP の「新潟市議会報告」をご覧ください。https://www.sachikoishizuki.net

## 1 本市の保育行政の課題について

1歳児保育のニーズの高まり、児童虐待の増加等社会情勢の変化を受け10年ぶりに「保育所保育指針」が改定され保育園の社会的責任が強く打ち出されました。区役所に「保育担当室」「保育支援課」など保育を一元的に担う部署の設置と強化、および園長が係長クラスではなく園全体の管理責任者として処遇されるべきと考えます。

- 今後10年間の保育士人材確保について
- 各区における保育担当部署の強化
- 指導保育士、園長の職位の格上げについて

## 2 難聴児への支援について

聴学校や白新中学難聴特別支援学級に通う子どもの他、軽度・中等度難聴の約20人の子どもが地域の中学校に通っています。小学校では問題を感じなかった子も「聞こえない」ということで学習面、生活面、友達関係などで困難を感じることが多くなります。小学校にある通級指導教室の設置、専門職員による訪問支援はできないものでしょうか。

- 難聴のある中学生への支援の現状について
- 通級指導教室の設置、あるいは専門担当者による訪問支援の検討について



鏡淵小学校にある難聴通級指導教室「きこえの教室」。定期的に聴力検査をしながら聴力の管理、聴力に合った補聴器を選び、話す力や言葉を広げたり、在籍校との連携、日常の音や言葉が聞き取れるように支援しています。

## 3 ギャンブル依存症を防ぐための取り組みについて

「カジノ解禁推進法」が昨年12月15日に成立し、ギャンブル依存症の拡大が指摘されています。ギャンブルによって借金、多重債務、失業、DV、家庭崩壊などが起こる場合があります。ギャンブル愛好家と依存症は全く違います。ギャンブル依存症は病気であり、国内の推定罹患者数は536万人（約20人に1人）です。早めの相談・治療が必要です。現状と対策をお聞きします。

- 相談から見える本市におけるギャンブル依存症の現状
- ギャンブル依存症対策について

### 保健衛生部長答弁

こころの健康センターの相談では、3年間で3件でしたが、借金に関する相談のうち7件はギャンブルが要因でした。ギャンブル依存症は適切な治療と支援により回復が可能である一方、依存症という認識を持ちにくく早期の相談・治療に繋がりにくい現状です。

今後は自助団体を周知するリーフレットや冊子の活用、専門相談の充実、関係団体や医療機関と連携を密にすることで、早期に支援や適切な治療につなぐ体制を強化していきます。



ギャンブル依存症を考える会の皆さんと



2015年12月議会 一般質問

### 産後ケア事業の充実が図られました

出産後の回復や育児等に不安を持つお母さんと赤ちゃんのいわゆるショートステイです。2017年度から、利用できる対象月齢が生後1ヶ月までから、生後4ヶ月未満までに、市の助成額が10,000円から所得に応じた額に変更されました。

2016年12月議会 一般質問

### LGBT当事者支援が確実に進んでいます

配慮のある支援が中学校の現場で実際に行われています。今後はLGBTへの相談窓口設置が現実的に検討されています。また、多目的トイレの表示が市役所では「だれでもトイレ」、中央区役所では「みんなのトイレ」に変更されました。

2016年12月議会 一般質問

### 知的障がい者や高齢者への投票支援

知的障がい者など障がいのある方や高齢者で代理投票をする方に対して、その方の意志を尊重し信頼される対応を心がけて丁寧な接遇をするように一層の周知が図られました。

2016年6月議会 一般質問

### 特別支援学校2校に学校司書が配置されました



「新潟市の学校図書館は日本一」「全校に司書配置」と謳いながら、なぜ特別支援学校には学校司書がないのか?なぜ蔵書が極端に少いのか? 知的障がいのある子に本ははじまないというのか? それは障がい者差別ではないか? という疑問から始まり、昨年6月議会の一般質問でこの問題を取り上げ、早急に学校司書の配置を求めました。その後、横浜市の先進例を視察し、会派で教育長要望を行いました。同僚の青木学議員が文教経済常任委員会で取り上げるなど、地道に繰り返しその必要性を訴えてきました。

嬉しいことに、今年度は特別支援学校2校（明鏡高校にも）に司書が配置され、これで新潟市では市立学校のすべてに学校司書が配置されました。この取り組みは全国から高い関心が注がれています。特別支援教育の拠点となっている両特別支援学校が、今後は図書館教育においてリーダーシップをとることを期待しています。

ピックアップ!  
詳しく紹介



2017年10月に両特別支援学校の様子を見せていただきました。居心地の良い図書館、司書の方の前向きな働き、子どもたちの本への興味関心の高まり、読み聞かせを楽しむ姿、支援学校の先生方の図書館教育を支える姿勢、全てにおいて感動を覚えました。

東特別支援学校の校長先生が学校だよりに寄せた文章を紹介します。（抜粋）

「子どもたちは絵本が大好きです。先生の読み聞かせに集中してみている姿や、自分が好きな絵本や図鑑など何度も何度も繰り返し見ている姿を見かけます。これからは読み聞かせや本を使った学習、図書室で自分の好きな本を選んで見るなどの活動が日常的にできるようになると思います」

## 着実に一步ずつ 実現にむけて提言・行動

市民の声を代弁し、時間をかけて要望を続けることで状況は少しずつ変わり始めました

### 教科書展示会場が2カ所に増設

道徳が2018年度から小学校で、2019年度から中学校で教科になります。今年は小学校の道徳教科書の採択の年で、市民の方の申し込みを受けて、教科書展示会場がこれまで西蒲区の教科書センター1カ所から中央図書館（ほんぽーと）の2カ所に増設されました。今まで以上の方が立ち寄られ、多くの意見を寄せています。

### 新潟大学前駅の西口、エレベーター脇の歩道に段差がなくなりました

障がい者施設に通う車椅子の方からご相談を受けていましたが、この度エレベーターを降りたところの歩道がバリアフリーになったことで障がい者や車椅子の方、高齢者の移動や車の送迎が大変楽になりました。

### 保育園に預けても母乳で育てたい人のための整備が進みます

0歳児保育が増え、働いても母乳で育てたいという母親は増えています。搾乳した母乳を冷凍し保育園に持っていくのですが、現在全ての園で環境整備が進んでいます。

